

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	環境基本計画推進事業 (520113)			担当課	生活環境課		
	開始年度	平成16(2004)	終了予定年度	平成36(2024)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 環境保全費	決算附属資料	158	頁	
	施策の大綱	自然環境の保全・共生の推進			関連計画等	第2期福知山市環境基本計画		
	施策名	環境学習を推進する			根拠法令等	環境基本法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	第2期福知山市環境基本計画に掲げる総合ビジョンを実現する。 総合ビジョンは、10年後～四半世紀後の福知山の将来像を表すもので、自然を大切に、人を大切に、資源を大切に、その循環(環[わ])を大切にしながら暮らしを営みながら、すばらしい知恵や知識を次世代へとつなげていく“まち”、共に幸せを生きる“福知山”を一人ひとりが創りあげながら実現する。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.08		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 福知山環境会議						
	事業概要	第2期福知山市環境基本計画に掲げるリーディングプロジェクトを、環境ボランティア団体である「福知山環境会議」が市と協働して実施し、計画に掲げる福知山の将来像(総合ビジョン)を実現していく。 リーディングプロジェクトの主なものとして、「みどりのカーテン実施率日本一」「福知山の自然体験」「由良川・里山」「生きもの調査」「サケの飼育と採捕・放流」「ごみの減量と生ごみの堆肥化による資源の有効利用」がある。						
	主な経費と具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		業務委託料		リーディングプロジェクト実施経費			679	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		750	680	680	638	
		補正予算等・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		375	340	340	319	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		375	340	340	319	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金			340	府補助金	24 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.70/0.20	0.70/0.10	0.70/0.10	/	
		概算人件費・・・④		6,100	5,850	5,850		
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,850	6,530	6,530		
執行状況	執行額・・・⑥		750	679				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	99.9%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		「みどりのカーテン」実施率	%	10 / 12	11.7 / 15	/ 16	25	
		プロジェクトへの年間参加者数	人	2,190/2,850	3,587/2,900	/3,000	3,500	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		プロジェクト実施回数	回	98 / 114	110 / 116	/118	140	
		単位あたりコスト		7.7	6.2			
		回	/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・本市の環境啓発活動の中心となる事業で、市民に浸透しており、目的達成に不可欠な事業である。市民ボランティア的な活動であり、行政と協働での実施を原則としている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市民・事業者らが無報酬で活動しており、委託料の内訳は、消耗品等の経費が大半を占める。必要最低限の経費で様々な活動が行われている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標は、計画が目指すビジョンの達成状況を示すものに変更する必要がある。 ・市内の様々な団体、事業者、学校と交流や連携しながら協働で活動できている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	毎年、市民協働の形で実施している環境啓発活動に多くの市民が参加しており、平成29年度は、目標としていた参加人数を達成した。一方、みどりのカーテン実施率については、実施率、実施世帯数ともに、過去最高を記録したが、目標数値には届かなかった。さらに実施率を上げるには、みどりのカーテンによるエネルギー消費削減率を具体的な数値で示すなど、その効果や利点を具体的に訴えて、取り組む必要がある。その他のプロジェクトについても、同様の視点で、参加人数だけでなく、目指しているビジョンの達成度を考えながら進めていく必要がある。		
今後の課題及び方向性	成果目標については、計画が目指すビジョンの達成度がわかるものに変更する。 みどりのカーテン活動は、単に実施するだけでなく、地球温暖化防止にどれだけ効果があったかを重視し、みどりのカーテンによる電力削減量の算定式を設定、電気代削減効果及びCO2削減効果でPRする。 リーディングプロジェクトのうち、軌道に乗って順調に進んでいるものと、軌道に乗っていないものとの差が生じているので、軌道に乗っていないものに重点を置いて、計画を進める。			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・環境基本計画の推進に向け、市民参加の機会も提供しつつ、民間事業者や学校とも連携し、各プロジェクトの活動をより一層充実していく。また基礎資料となるみどりのカーテン実施率アップについても取組みを強化していく。 【平成29棚卸に係る見直し状況】 ・「政策評価指標オリンピック」による評価を依頼中。結果による内容を精査し、みどりのカーテンCO2削減量の目標値による成果指標を設定する予定である。 ・民間事業とも連携し、各プロジェクトごとで検討したPR画像を完成したのから、11月より順次上映しており、今後も内容を更新し広く情報発信を行っていく。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		